



く来て、見て、体験く

台東区の 伝統工芸の



2016年3月5日(土) 6日(日)
国立科学博物館 (東京・上野公園)

会場：国立科学博物館 日本館 地下1階 多目的室

時間：10:00 ~ 16:00

入館料：一般・大学生 620 円 (団体 310 円)、高校生以下および 65 歳以上 無料

※ ものづくり体験に参加する場合は材料費がかかります

主催：国立科学博物館 共催：台東区 協力：台東区伝統工芸振興会

遊びに来てね!



国立科学博物館
National Museum of Nature and Science

～来て、見て、体験～ 台東区の伝統工芸

台東区は、江戸の昔から庶民のまち、江戸文化発祥のまちとして栄えてきました。今なお、粋でいなせな町人氣質、職人が培った伝統産業など、江戸時代の面影を残す都内有数の史跡・文化を擁しています。そんな下町の歴史と風土の中で生まれ、受け継がれてきた匠の技を多くの皆様に知っていただくとともに、ものづくりの楽しさを体験いただければと思います。



職人実演コーナー 時間：10:00～16:00



東京銀器

(実演：上川 善嗣氏)

銀器職人は、銀師（しろがねし）とも呼ばれます。もとは、かんざしや神輿（みこし）金具などを作る金工師と呼ばれる職人が登場したのが東京銀器のはじまりです。昨今では、アクセサリーや酒器等、さまざまなものが作られています。



木版彫刻

(実演：長尾 次朗氏)

木版画が一般に普及した江戸時代に、絵師・彫師・摺り師の分業体制が確立しました。色の数が増える毎に版木も増える版画。細かな模様が入った版木を、色や模様が狂わないよう彫っていかねばなりません。



ものづくり体験コーナー 時間：10:00～12:00（受付は11:30まで） 13:00～16:00（受付は15:30まで）

すだれのコースター作り（指導：江戸簾職人 田中 義弘氏・田中 耕太郎氏）

竹ひごと綿糸を使って、江戸時代から続く伝統的な技法でコースターを編みます。
一人で2枚できます。

- 【対象】どなたでも（未就学児は保護者同伴）
【受付】順次受付 ※材料が無くなり次第終了
【所要時間】約20分 【材料費】500円



【国立科学博物館基本情報】

- 所在地：〒110-8718 東京都台東区上野公園7-20
- 入館料：一般・大学生 620円（団体310円 ※団体は20名以上）
高校生以下および65歳以上は無料
- 開館時間：9:00～17:00 毎週金曜日は20:00まで
（入館は閉館の30分前まで）
- 休館日：毎週月曜日（月曜が祝休日の場合は火曜日）
※3/28（月）、4/4（月）、5/2（月）は臨時開館
（6月以降につきましては別途ご確認ください）
- お問合せ：ハローダイヤル 03-5777-8600
- ホームページ：<http://www.kahaku.go.jp>

